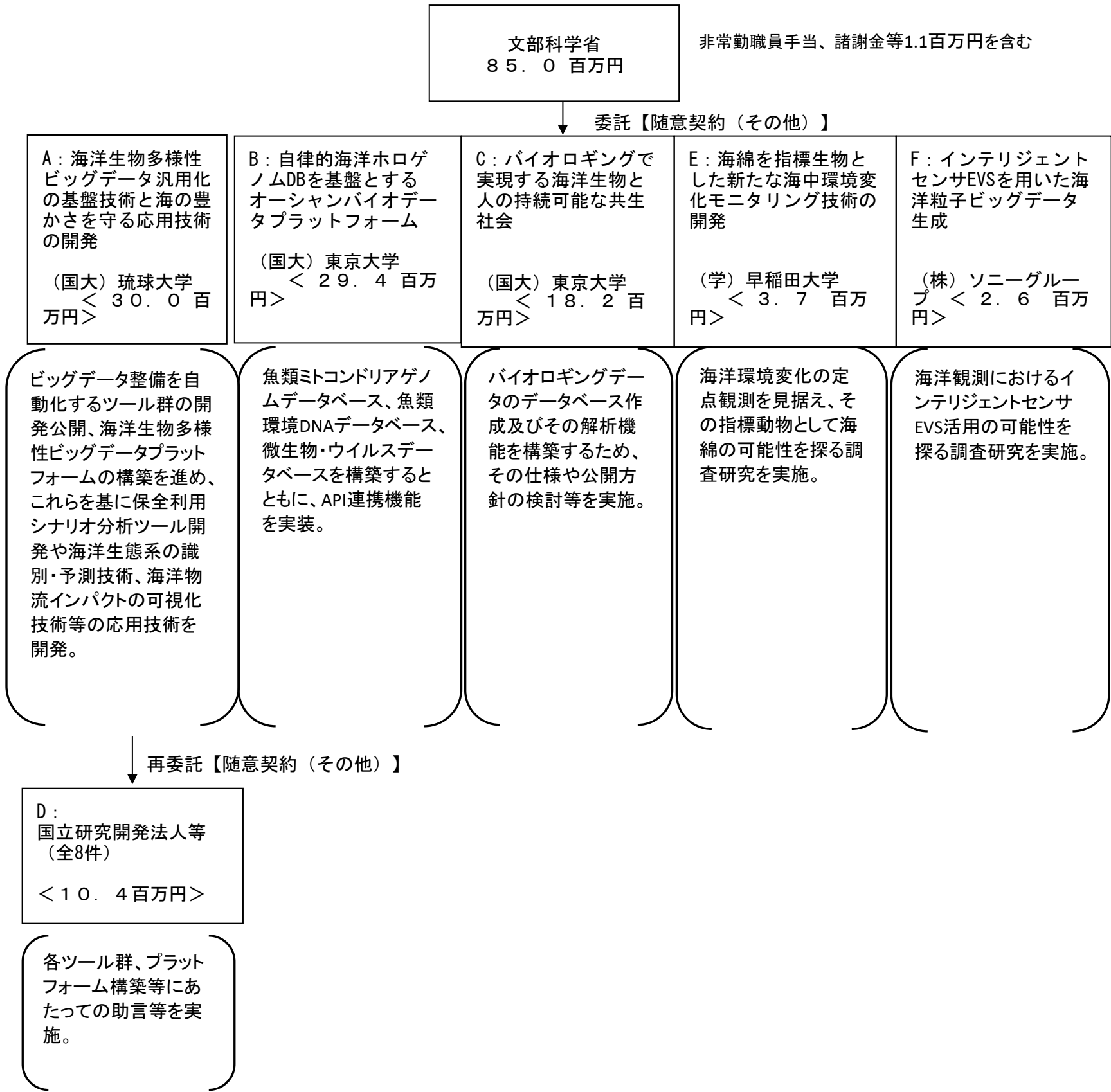


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	海洋生物ビッグデータ活用技術高度化			担当部局庁	研究開発局		作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和13年度	担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 山之内 裕哉	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	海洋基本法 第2条、第4条、第18条、第22条、第23条、第27条			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 第3期海洋基本計画(平成30年5月閣議決定) 統合イノベーション戦略2020(令和2年7月閣議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費			
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/202111224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	最新の情報科学を海洋生物研究に取り込むことにより、海洋生物ビッグデータを活用する技術・手法の高度化を図り、持続可能な開発目標(SDGs。SDG14「海の豊かさを守る」等)の基礎を成す海洋生態系の理解を深め、これにより海洋生物・生態系の保全・利用を促進し、海洋の諸課題を解決する。							
現状・課題 (5行程度以内)	食糧生産や気候調整等で人間社会と密接に関わる海洋生態系は、近年、汚染・温暖化・乱獲等のストレスにさらされており、その持続可能性の確保が地球規模での喫緊の課題となっている。海洋に係るデータ取得技術等は、これまでの技術開発により着実に進展し、環境情報を含め、海洋生態系を取りまく膨大なデータが蓄積されるようになってきた。複雑で多様な海洋生態系を理解し、保全・利用へ展開していくためには、これら既存のデータやデータ取得技術を基に、データ連携や市民科学の活用を含め、ビッグデータから新たな知見を見出していくことが重要である。							
事業概要 (5行程度以内)	SDGs達成を目指す「国連海洋科学の10年」(2021年～2030年)のアウトカム(きれいな海、健全な海、生産的な海、予測できる海、安全な海、万人が利用できる海、魅力的な海)の実現に貢献するため、最新の情報科学と海洋生物・生態系研究を融合することにより、複雑な海洋生態系の理解を深め、環境保全・水産等の分野において海洋生態系の保全・利用を目指す。具体的には、各研究開発課題において、画像解析・クラウド技術等を用いたデータ収集・選別技術を開発や、AI技術等を用いたビッグデータ解析手法の開発など、海洋生物ビッグデータを活用する技術・手法の高度化を図り、社会的成果の創出をステークホルダーとの連携により目指す。							
事業概要URL	-							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	-	90	84.7	82.1	82.1	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	0.4	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	90	85.1	82.1	82.1		
	執行額(G)		-	89	84.6			
	執行率(%) =(G)/(F)		-	99%	99%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	99%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		研究開発推進費		-			
		(目)	科学技術試験研究委託費	81.3				81
	(項)		研究開発推進費					
		(目)	非常勤職員手当	0.3				0
		(目)	職員旅費	0.2				0
		(目)	委員等旅費	0.2				0
		(目)	諸謝金	0.1				0
		(目)	庁費	0.0				0
			その他					
	計(A)		82.1	82.1				

活動内容① (アクティビティ)		計測技術・情報科学技術を利用した海洋生物・生態系データの収集・選別技術及びビッグデータ生成・解析技術の開発や高度化に関する研究開発を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		海洋生物・生態系データの収集・選別 技術及びビッグデータ生成・解析技術 の開発	構築したデータベースのデー タ数	活動実績	件	－	121	837	－	－
				当初見込み	件	－	100	150	150	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	社会実装に繋げるため、本事業で開発した技術やビッグデータの周知・普及を推進し利用者を増加させる。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度	
		本事業で開発した技術や整備したデー タベースの利用者が増加する	本事業で開発したビッグデー タや利用技術をテーマに開催 した講演等の来場者数や開 発したアプリケーションの利用 者数及びサイト閲覧数等	成果実績	人	－	－	－	－	
				目標値	人	－	－	－	－	
				達成度	%	－	－	－	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業実施機関へのヒアリング 目標値については令和5年度の実績に鑑みて設定								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	海洋のビッグデータを活用して海洋生態系の理解を深め、これにより海洋生物・生態系の保全・利用を促進し、海洋の諸課題を解決する。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 12 年度	
		令和12年度までに、海洋生物に関する データやその解析技術を用いた論文 数、学会発表数を500件まで増加する。	本事業で整備されたデータや 解析技術を用いた論文数、学 会発表数(累積値)	成果実績	件	－	6	37	－	
				目標値	件	－	10	30	500	
				達成度	%	－	60	123.3	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		成果報告書、事業実施機関へのヒアリング								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	生物多様性国家戦略2023-2030								
	URL	https://www.env.go.jp/content/000124381.pdf								
	該当箇所	p157-158 5-2-13 海洋生物ビッグデータ活用技術高度化[重点]								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	再委託費	プロジェクトの目的達成に関わる業務(国立環境研究所等全8件)	10.4	人件費・謝金	データベース開発等	16.5
	人件費・謝金	海洋生物多様性ビッグデータプラットフォーム開発等	9.8	間接経費		6.8
	その他	外注費、諸経費、消費税相当額	4.9	その他	諸経費、消費税相当額	2.6
	間接経費		4.5	物品費	データベース開発用機器購入	1.6
	物品費	野外調査消耗品	0.2	旅費	学会出席・研究会議等	1
	旅費	野外調査、会議出席	0.1	外注費	論文校正、DNA配列解析等	0.9
	計		29.9	計		29.4
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	外注費	解析システム構築、解析アルゴリズム開発・検証	10.2	人件費	プロジェクト全体の総合的推進	2.9
	間接経費		4.2	間接経費		1.1
	人件費・謝金	プログラム開発	3.5	旅費		0.4
	その他	消費税相当額	0.3	その他	諸経費、消費税相当額	0.3
				消耗品		
	計		18.2	計		4.7
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	会議参加、サンプル採集	2	物品費	耐圧ガラス容器購入等	2
	間接経費		0.9	間接経費		0.6
	謝金	サンプル採集補助	0.3			
	外注費	環境DNA分析等	0.3			
	その他	諸経費、消費税相当額	0.2			
	物品費	サンプル採集のための消耗品	0.1			
	計		3.8	計		2.6
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

